別処山古墳（下野市）

ここは別処山運動公園/正面に別処山古墳が復元保存されている/6世紀後半築造の前方後円墳

別所山古墳

様々な説明板が目白押し/中央に横穴式石室が開口しているのが見える

右手を見たところ

南河内町の文化財・史跡
東
北
南
西
現在地
別処山古墳

古墳時代と古墳の種類

古墳時代とは古墳が盛んに造られた時代で、4世紀初め頃から7世紀までをいいます。
この時代の大きな特徴は、畿内の大和地方(現在の奈良県)を中心に日本の古代統一国家が形成されたことです。
古墳は土を高く盛った墓で、地域の有力者が造ったものです。その形から前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳などがあります。南河内町にも古墳時代前期から後期に造られた大きさや形の異なった古墳が数多くあります。

前方後方墳

磯部古墳

方　墳

朝日観音1号墳

前方後円墳

御鷲山古墳

円　墳

朝日観音5号墳

保存整備工事

この古墳は昭和60年に運動公園建設工事により発見され、発掘調査が行われました。南河内町はこの古墳を保存し、未来に継承していくと共に、現代の人々に文化財を正しく認識してもらえるよう保存整備工事を行いました。工事は昭和62年に行い、その内容は石室西壁の一部崩れていた石積みや落下していた天井石の修復、墳丘の築造時の姿への復原、見学広場・学習施設の設置などです。復原後の墳丘は長さ35m、後円部の径24m、高さ2.4mです。

別処山古墳

古墳の概要

別処山古墳は、南河内町の南端部絹板の舌状台地上に造られた前方後円墳です。
この周辺には、遺跡などの埋蔵文化財が数多く分布していますが、古代には多くの古墳が造られており、古墳群を形成していたものと考えられます。このことから、この地域が河内郡南部の古代社会の中心地だったものと思われます。
この古墳は、墳丘の一部が後世の土採取により失われていましたが、墳丘をとりまく周溝などの調査から、全長約35m、後円部径約24m、前方部最大幅約24mの前方後円墳であり、墳丘の上には埴輪が置かれていたことがわかりました。造られた時期は、石室の形態や出土品から6世紀後半頃と考えられます。
後円部にある石室からは、数種の副葬品が出土しました。特に、柄の頭部に鈴を内蔵した「銀装大刀」、青銅製の吊手状「三鈴鏡」は、この形式のものとして日本で最初に出土した遺物です。このように、別処山古墳は、この地域の古墳時代後期の代表的な古墳として、貴重なものです。

南からの古墳遠景（修復前）

西からの石室天井石露出状態

所在地　栃木県河内郡南河内町大字絹板字別処山
管理者　南　河　内　町

BESSYOYAMA KOFUN

LOCATION : BESSYOYAMA KINUITA MINAMIKAWACHI-MACHI KAWACHI-GUN TOCHIGI-KEN

The histrical site; This patriarch's tomb is assumed to have been built in the latter half of the 6th century.

修復前の墳丘測量図

石　室

横穴式石室は遺体を葬る施設です。このような石積みによる埋葬施設が古墳には多く用いられました。この古墳の石室は奥壁がほぼ後円部の中心にあり、南北に長い形で南に入口がつくられています。奥壁には鏡石と呼ばれる一個の大きい石が使われ、左右の壁は小さい河原石により積まれています。玄室(墓室)入口は石によって厳重に封鎖されていました。石室の規模は、長さ約3.4m、幅約1m、高さ1.5mで、この時期の一般的な形式の石室です。

南からの石室全景

右壁(東壁)

石室閉塞状態（石室内より）

出土遺物

石室の中には遺体と共に、生きていた時、身につけていたものや、大切にしていたものを副葬品として埋葬しました。

別処山古墳の石室奥壁の前からは、大刀1本鏡1枚、耳環2個、鉄鏃5本、刀子2本、そして被葬者の骨の一部も出土しました。

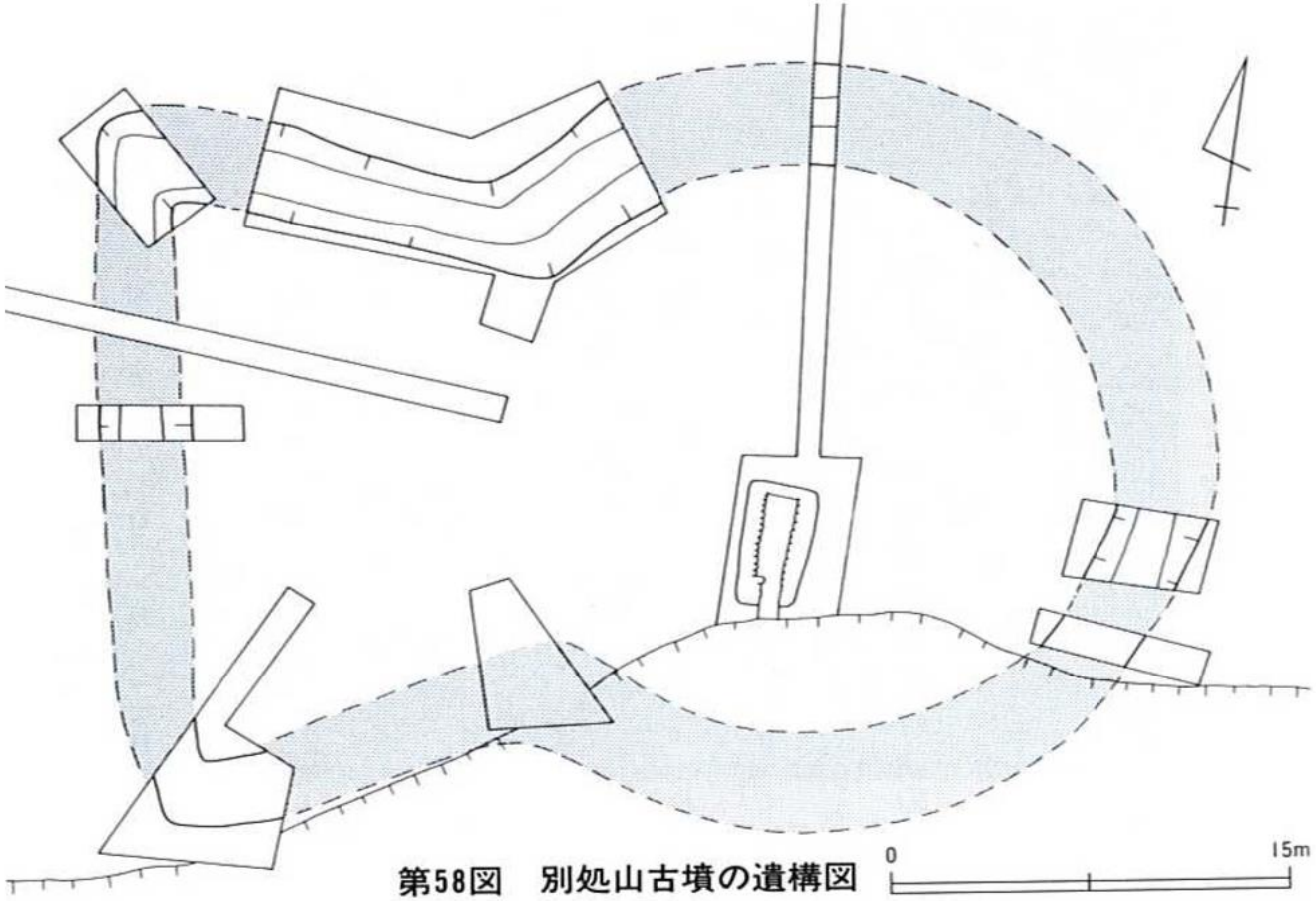
「銀装大刀」は特に注目すべき遺物であり、全長97cmの鉄製で、約20cmの柄には銀の薄板と銀の糸によって装飾がほどこされ、柄の頭部には青銅製の鈴が入れられていました。これまでに出土した大刀と比べて、鈴が入っていることや柄の頭部の形など異例なものです。この大刀は、豪族などが祭礼、儀式などに用いた飾り大刀の一種です。

「三鈴鏡」は青銅製で直径7cm、周縁には3個の鈴と吊手状のものがついた珍しい鏡です。鈴鏡は県内でも数枚出土していますが、鈴が3個ついているのは全国でも例がありません。これらの鏡は姿を映す鏡と違い、古代の巫女が腰につけ祭事に使用したものと言われています。主に北関東から出土しており、貴重な遺物のひとつです。

修復前の石室実測図

遺物出土状態

遺物出土状態

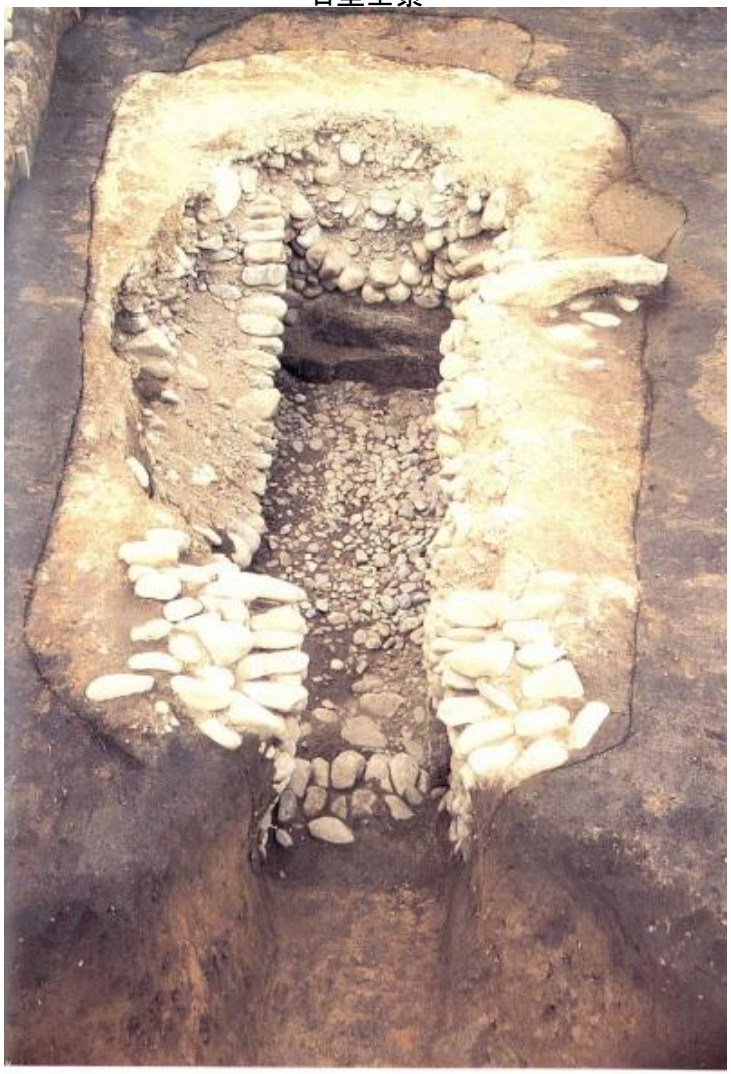


第58図　別処山古墳の遺構図

※下野市ホームページより

これが後円部南側に開口した河原石小口積の片袖型横穴式石室

石室全景



石　室　全　景

※下野市ホームページより

東側から後円部を見たところ

北側から見たところ/左手が後円部、右手が前方部

西側から前方部を見たところ

その右手で前方部から後円部方向を見たところ

そこで左手（前方部の裾）を見たところ

これは後円部の墳頂に登って前方部方向を見たところ

参考ホームページ

https://www.city.shimotsuke.lg.jp/manage/contents/upload/5821842668b2a.pdf

http://www.shimotsuke-bunkazai.com/culturalassets.php?id=25

https://ameblo.jp/fookky/entry-12353389796.html

http://kofunnomori.web.fc2.com/tochigi/minamikawachi/besho.htm

http://kofuntokaare.main.jp/5goufun/page089.html

http://kofunmoodys.fc2web.com/minamikawati_1.html

下野市
自治医大
小金井
久下田
183
310
336
35
294
44
18
316
4
339
214
33
147
204
秋田新幹線
東北新幹線
両毛線
真岡鐵道